

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月20日
【事業年度】	第37期（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）
【会社名】	株式会社ナガセ
【英訳名】	Nagase Brothers Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 永瀬 昭幸
【本店の所在の場所】	東京都武蔵野市吉祥寺南町一丁目29番2号
【電話番号】	0422(45)7011(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 重清 安雄
【最寄りの連絡場所】	東京都武蔵野市吉祥寺南町一丁目29番2号
【電話番号】	0422(45)7011(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 重清 安雄
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年6月28日に提出した第37期（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

(連結損益計算書関係)

(金融商品関係)

(有価証券関係)

【関連当事者情報】

2【財務諸表等】

(1)【財務諸表】

【注記事項】

(損益計算書関係)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

(連結損益計算書関係)

6 減損損失

(訂正前)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。
前連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(省略)

帳簿価額を全額減損し、減損損失3,088千円として特別損失に計上しております。
その内訳は、建物及び構築物2,897千円、工具、器具及び備品191千円であります。

当連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(省略)

上記校舎については、帳簿価額の全額、又は一部を減損し、また、売却の予定されている賃貸資産については帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失109,329千円として特別損失に計上しております。

その内訳は、建物及び構築物60,188千円、工具、器具及び備品4,289千円、土地21,074千円、電話加入権582千円、長期前払費用23,194千円であります。

(訂正後)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。
前連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(省略)

上記校舎については、営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスとなっており、今後も改善が困難と見込まれるため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失3,088千円として特別損失に計上しております。

その内訳は、建物及び構築物2,897千円、工具、器具及び備品191千円であります。

回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローがマイナスであるため、割引率の記載は省略しております。

当連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(省略)

上記校舎については、閉校しており、または営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスとなっており、今後も改善が困難と見込まれるため、また賃貸資産については売却の意思決定をしたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失109,329千円として特別損失に計上しております。

その内訳は、建物及び構築物60,188千円、工具、器具及び備品4,289千円、土地21,074千円、電話加入権582千円、長期前払費用23,194千円であります。

校舎の回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローがマイナスであるため、割引率の記載は省略しております。また、賃貸資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、売却契約に基づく売却予定額に基づき算定しております。

(金融商品関係)

3. 金銭債権及び満期のある有価証券の連結決算日後の償還予定額

(訂正前)

前連結会計年度(平成23年3月31日)

(省略)

当連結会計年度(平成24年3月31日)

	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超10年以内 (千円)	10年超 (千円)
預金	12,225,929	-	-	-
受取手形及び売掛金	2,276,210	-	-	-
合計	14,502,140	-	-	-

(訂正後)

前連結会計年度(平成23年3月31日)

(省略)

当連結会計年度(平成24年3月31日)

	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超10年以内 (千円)	10年超 (千円)
預金	12,225,929	-	-	-
受取手形及び売掛金	2,276,210	-	-	-
投資有価証券 その他有価証券の うち満期があるもの 債券(社債)	-	-	100,000	-
合計	14,502,140	-	100,000	-

(有価証券関係)

3. 減損処理を行った有価証券

(訂正前)

その他有価証券で時価のある株式について、前連結会計年度において6,592千円、当連結会計年度において7千円減損処理を行っております。

(省略)

(訂正後)

有価証券について、前連結会計年度において168,524千円、当連結会計年度において73,218千円減損処理を行っております。

(省略)

【関連当事者情報】

関連当事者との取引

(訂正前)

連結財務諸表提出会社と関連当事者との取引

連結財務諸表提出会社の役員及び主要株主(個人の場合に限る。)等

前連結会計年度(自平成22年4月1日至平成23年3月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所有) 割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
	(省略)									
役員	永瀬 昭典	-	-	当社代表 取締役	(被所有) 直接 12.2 間接 9.6	資金の貸付 資金の借入	- 利息の受取 利息の支払	- 1,400 528	長期貸付金 その他 短期借入金 未払費用	70,000 (10,000) 1,050 46,725 353
	(省略)									

(注) 1. 期末残高の()内の数字は内数で一年内回収予定額であり、流動資産のその他に含めて計上しております。

2. 永瀬昭幸に対する賃貸料は、市場の価格等を勘案し、価格交渉の上決定しております。

3. 永瀬昭幸、永瀬昭典、大山廣道に対する貸付金は、当社役員貸付金規程に基づいて決定しております。

当連結会計年度(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所有) 割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
	(省略)									
役員	永瀬 昭典	-	-	当社代表 取締役	(被所有) 直接 12.2 間接 9.6	資金の貸付 不動産取引 物品の貸与 子会社債務 の免除	- 利息の受取 土地の取得 物品レンタル 子会社債務の 免除	- 352 340,000 12,024 324,725 —	長期貸付金 その他 - - - -	70,000 (10,000) 1,403 - - -
	(省略)									

(注) 1. 期末残高の()内の数字は内数で一年内回収予定額であり、流動資産のその他に含めて計上しております。

2. 永瀬昭幸に対する賃貸料は、市場の価格等を勘案し、価格交渉の上決定しております。

3. 永瀬昭幸、永瀬昭典、大山廣道に対する貸付金は、当社役員貸付金規程に基づいて決定しております。

4. 永瀬昭典からの土地取得では、購入価格を不動産鑑定士による鑑定価格をもとに決定しております。

5. 永瀬昭典からの物品レンタル料価格については、市場価格を勘案して決定しております。

6. 子会社債務の免除は、当該子会社の代表取締役である永瀬昭典の申し出により借入金の一部について弁済免除を受けたものであります。

(訂正後)

(1) 連結財務諸表提出会社と関連当事者との取引

連結財務諸表提出会社の役員及び主要株主(個人の場合に限る。)等

前連結会計年度(自平成22年4月1日至平成23年3月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所有) 割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
	(省略)									
役員	永瀬 昭典	-	-	当社代表 取締役	(被所有) 直接 12.2 間接 9.6	資金の貸付	- 利息の受取	- 1,400	長期貸付金 その他	70,000 (10,000) 1,050
	(省略)									

- (注) 1. 期末残高の()内の数字は内数で一年内回収予定額であり、流動資産のその他に含めて計上しております。
2. 永瀬昭幸に対する賃貸料は、市場の価格等を勘案し、価格交渉の上決定しております。
3. 永瀬昭幸、永瀬昭典、大山廣道に対する貸付金は、当社役員貸付金規程に基づいて決定しております。

当連結会計年度(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所 有)割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
	(省略)									
役員	永瀬 昭典	-	-	当社代表 取締役	(被所有) 直接 12.2 間接 9.6	資金の貸付 不動産取引	- 利息の受取 土地の取得	- 352 340,000	長期貸付金 その他	70,000 (10,000) 1,403 -
	(省略)									

- (注) 1. 期末残高の()内の数字は内数で一年内回収予定額であり、流動資産のその他に含めて計上しております。
2. 永瀬昭幸に対する賃貸料は、市場の価格等を勘案し、価格交渉の上決定しております。
3. 永瀬昭幸、永瀬昭典、大山廣道に対する貸付金は、当社役員貸付金規程に基づいて決定しております。
4. 永瀬昭典からの土地取得では、購入価格を不動産鑑定士による鑑定価格をもとに決定しております。

(2) 連結財務諸表提出会社の連結子会社と関連当事者との取引
連結財務諸表提出会社の役員及び主要株主(個人の場合に限る。)等
前連結会計年度(自平成22年4月1日至平成23年3月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所 有)割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	永瀬 昭典	-	-	当社代表 取締役	(被所有) 直接 12.2 間接 9.6	資金の借入	資金の借入 利息の支払	32,000 528	短期借入金 未払費用	46,725 353 -

- (注) 1. 永瀬昭典からの借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

当連結会計年度(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所 有)割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	永瀬 昭典	-	-	当社代表 取締役	(被所有) 直接 12.2 間接 9.6	物品の貸与 資金の借入 - 子会社債務 の免除	物品レンタル 資金の借入 利息の支払 子会社債務の 免除	12,024 278,000 3,833 324,725	- - 未払費用 -	- - 4,186 -

- (注) 1. 永瀬昭典からの借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。
2. 永瀬昭典からの物品レンタル料価格については、市場価格を勘案して決定しております。
3. 子会社債務の免除は、当該子会社の代表取締役である永瀬昭典の申し出により借入金の全部について弁済免除を受けたものであります。

2【財務諸表等】

(1)【財務諸表】

【注記事項】

(損益計算書関係)

6 減損損失

(訂正前)

(省略)

上記校舎のうち閉校した校舎及びキャッシュ・フローのマイナスが継続し収益性が著しく低下した校舎を、減損損失として特別損失に12,083千円計上しております。その内訳は、建物8,757千円、工具、器具及び備品3,022千円、長期前払費用303千円であります。

(訂正後)

(省略)

上記校舎のうち閉校した校舎及びキャッシュ・フローのマイナスが継続し収益性が著しく低下した校舎を、減損損失として特別損失に12,083千円計上しております。その内訳は、建物8,757千円、工具、器具及び備品3,022千円、長期前払費用303千円であります。

校舎の回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローがマイナスであるため、割引率の記載は省略しております。